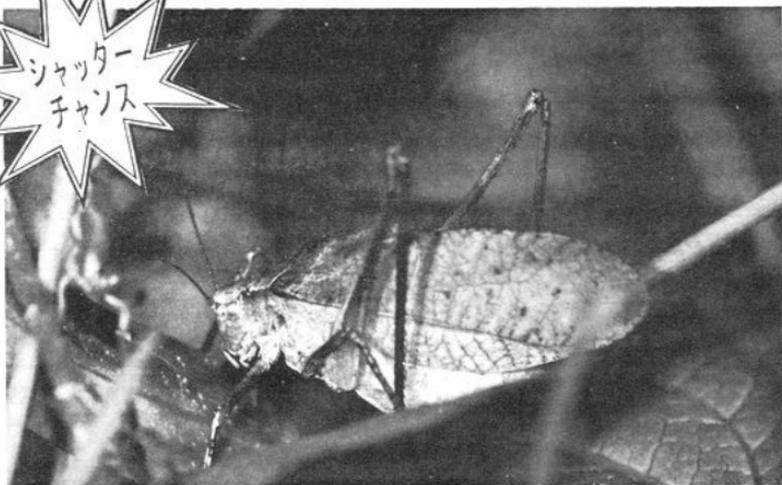


## 市川自然博物館

8・9月号

(通巻第14号)

だより



## ～クツワムシ～

8月なかば旧盆を過ぎると、厳しい残暑の中にも秋の気配が感じられるようになります。夜には、あちこちの草かげから虫の鳴く音がしきりに聞こえてきます。

クツワムシは、ガチャガチャというやかましい大きな音で鳴くので、どこにいるのかすぐわかります。しかも、警戒心が弱いので静かに近づけば手づかみで捕まえられます。その名は、馬の轡（くつわ）を鳴らす音に似ているところからつけられたようです。大町の自然観察園には数多く生息していて、とても賑やかです。

# 特集 トンボを



大空をスイスイと飛び回るトンボ。夏を代表する昆虫です。「ヤンマ」「イトトンボ」「アカトンボ」。トンボの呼び名はいろいろ知っているけど、どんなトンボがいるんだろう？ トンボを探しにいってみましょう。

●どこに行けばみつかるかな？

・開けた池や水田の周辺

水辺の草や池の中に卵を産みにくるトンボ。小さな昆虫を食べに来るトンボ。池や水田の周辺には、たくさんのトンボがいます。水面や池の上空など、じっくり観察しましょう。種類によって、見られる場所はさまざまです。

・街のなかの公園

市街地でも、緑の多い公園などでは、まだ赤くないナツアカネがよく見られます。噴水や池のある公園ではシオカラトンボ、そして上空を通過するオニヤンマを見つけることができます。

●トンボを見つけたらここに注目！

市内でよく見る「イトトンボ」

尾の先が青い



アジイトトンボ

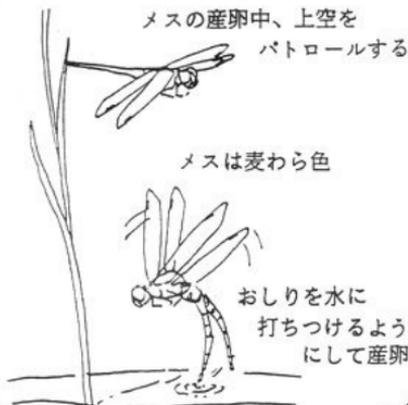
よく似たアオモントンボもよくいます

シオカラトンボ

オスは青白い色

メスの産卵中、上空を

バトロールする



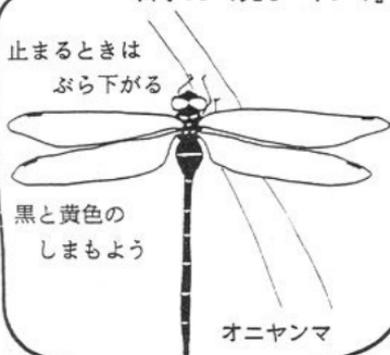
メスは麦わら色

おしりを水に打ちつけるようにして産卵

市内でよく見る「ヤンマ」

止まるときはぶら下がる

黒と黄色のしまよう



オニヤンマ



# 探しにゆこう!

## ・「イトトンボ」の仲間

体の大きさは約30mmで、とても小さいトンボです。あまり高く飛ばず、水辺近くの草むらや、水田の周辺でよく見られます。はねを閉じてとまるのが特徴です。

## ・「アカトンボ」の仲間

「アカトンボ」が赤くなるのは、じゅうぶん成熟する秋で、夏はほとんどのものが黄橙色をしています。市内でよく見られる「アカトンボ」は3種類です。

### ・シオカラトンボの仲間

シオカラトンボ・オオシオカラトンボ・ハラビロトンボなど、中型のトンボです。雄の体は青白い色をしたものが多いです。

### ・「ヤンマ」の仲間

日本最大のトンボ・オニヤンマやギンヤンマなど、大型のトンボの仲間です。昼間一番暑い時間でも、池の上をゆうゆうと飛んで、なわばりをパトロールします。毎秒9mものスピードをだすこともできるので、捕まえるのは大変です。

## ●市川で見られる珍しいトンボ

市で天然記念物に指定しています。皆で大事に保存していきましょう。

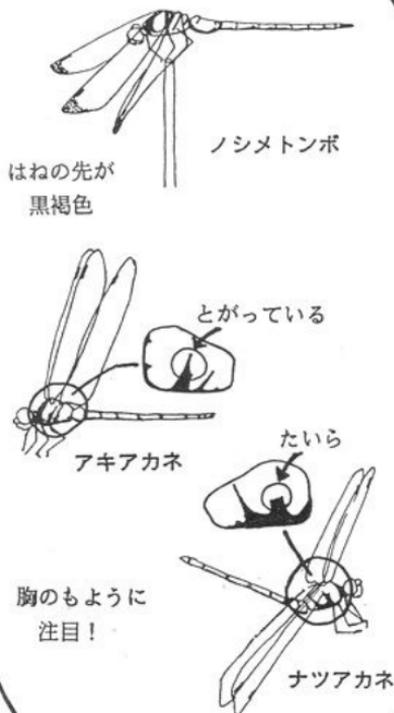
### ・ヒメアカネ

アカトンボのなかまでは日本で一番小さなトンボです。自然観察園に生息しています。

### ・ヒメイトトンボ

太平洋岸のわずかに海水が混入する河川の湿地にだけ生息しています。行徳橋上流のヨシ原は、千葉県内唯一の生息地です。

## 市内でよく見る「アカトンボ」





おじゃまします!

# 街かど自然探訪

夏の風景を探して、市内を歩いてみました。第3回は、入船と稲越町です。

## 入船・東浜公園の夏

高層住宅が建ち並ぶ行徳地区では、街かどの公園は、遊び場やくつろぎの場として貴重です。入船にある東浜公園も、そういう公園のひとつです。

7月のある日、小さな子どもが遊ぶ東浜公園では、蜜を求めるアゲハチョウがネズミモチの花を訪れ、メタセコイアの木では、ニイニゼミが夏の到来を告げていました。まだ赤くないナツアカネが芝生の上を飛び、公園には夏の気配が満ちていました。

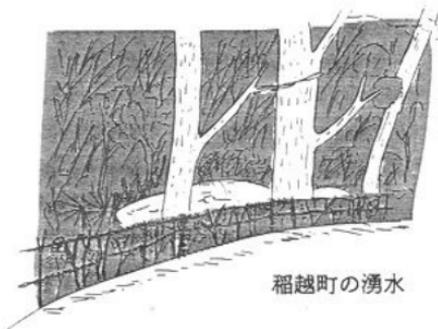


入船の東浜公園

## 稲越町・国分高校近くの湧水

稲越町は、町内を春木川が流れていて、川沿いに開けた土地が広がっています。一方、町の東側には高塚新田から続く台地があり、国分高校前の道路に沿って、台地から低地への斜面になっています。

こういう斜面の下は、むかしから湧き水の多いことが知られています。市内各地にあった湧水の多くは埋められてしまいましたが、国分高校前の道路沿いには、湧水が残っています。中には入れませんが、道からでも、昔の湧水の面影に触れることができます。

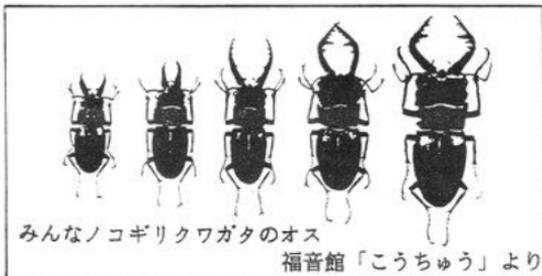


稲越町の湧水

# 市川のこん虫クワガタムシ



クワガタムシの仲間は、カブトムシとともに夏の雑木林を代表する昆虫のひとつで、たいへん人気があります。なんといっても、クワガタムシの仲間はそこが特徴です。クヌギやコナラなどの樹液（じゅえき）をなめているので、そのあ



みんなノコギリクワガタのオス  
福音館「こうちゅう」より

ごはえさを食べるのには使いません。もっぱらえさの場所取りや、お嫁さん探しの時のけんかに役立っているようです。個体によってその形や大きさにかなり差があり、けんかの強さもこれで決まるようです。市川市内にはコクワガタ・ノコギリクワガタ・ヒラタクワガタという3種類のクワガタムシが生息しています。この中で一番普通に見られるのはコクワガタです。暗くなってから、雑木林で樹液の出ている木の幹や、その周辺の街灯の下を探すと簡単に見つけることができます。

## むかしの市川～その11～

### 真間川の思い出(3)

市川市の地図を見ると、東菅野あたりから八幡、鬼越を経て、原木で東京湾に注ぐもう1本の真間川を見つけることができます。この川は、以前は境川（ところによって新川）とよんでいました。

水が澄んでいたのでも夏はよく泳いだものです。所々におおい舟（肥料舟）が、もやっていたり、気にすることもなく、その間を泳ぎ抜けたりました。富貴島小学校（当時はなかった）のあたりで大柏川が合流します。そこは、堰になっていて大柏川の水がオーバーフローして境川に落ちる一方、境川の上に懸樋（かけい）となり、川の上を川が流れていました。そして八幡から稲荷木、行徳

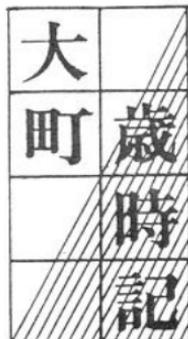


へと導かれて内匠堀（たくみぼり）となりました。

境川は東京湾に河口を開いていたので海から魚が遡上し、大柏川の堰下では、アユの群れが飛びはね、ウナギが堰板をはいのぼろうとしたりしていました。

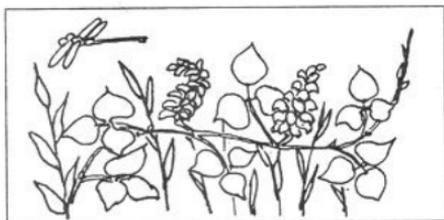
「丘辺の裾の境川、清くめぐる学園に文化の花は咲きかおる・・・」これは中山小学校の校歌の一節です。

（博物館指導員 大野景徳 記）



強い日射しがジリジリと照りつける自然観察園。植物は、そんな光を求めるように成長しています。特につる植物は、自然観察園を一面おおってしまうかという勢いで、グングンつるをのびし葉をひろげています。つる植物はヨシなどが成長した後、それらにつかまって上へ上へと伸びてゆくので、8月に入るととても目立つようになります。園路沿いのロープにからみついているクズは、紅紫色の穂状の花を咲かせています。白に中央が濃いピンクの筒状の小さな花をたくさんつけているのはヘクソカズラです。可愛らしい姿なのですが、

とてもにおいが悪いのが残念です。湿地の中で小さな緑の実をつけているのはノブドウです。丸い1cm位の白っぽい実をぶら下げているのは、スズメウリです。園路を歩きながら数えたら、そんなつる植物を17種類も見つけました。



# 行徳野鳥観察舎

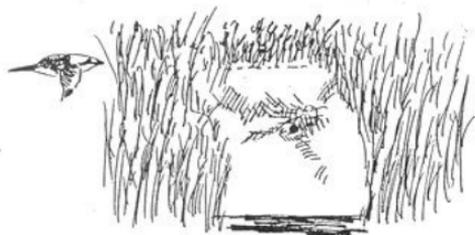
## だより

カワセミの巣づくり



6月2日の園内観察会で、巣作り真っ最中のカワセミが見られた。この4月に作った営巣用の崖。草におおわれた池の土手をけずり、幅2mほど土をむきだしにして少しオーバーハングさせた場所で、水面から1m程の所にせっせと穴を掘っていたとのこと。ここ2、3年来夏もカワセミが見られるようになり、新浜鴨場に巣があるとは思っていたが、現場確認はこれが初めて。

6月末、魚をくわえて巣穴へ入る雄が見られた。抱卵確実！しかし、7月には巣への出入りが少なくなり、巣立ったヒ



文と絵・蓮尾純子

ナも見られていない。残念ながら失敗してしまったようだ。来年はもっと条件のよい崖を作ろう、と友の会のメンバーは今からはりきっている。

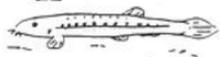
# いちかわの自然調査

自然博物館では、市川の自然の様子を知るために、身近な生き物の調査を行っています。春の調査の時には、たくさんの情報をいただきありがとうございました。只今集計中で、秋頃には報告書を発行する予定です。

今回は夏編、下記の6つの調査項目について市川市内で観察されましたら、自然博物館まで御連絡下さい。

## < 調査項目 >

1. ヘイケボタル ・体長1センチ未満  
・7月下旬～8月上旬  
・水田や湿地などで見られる

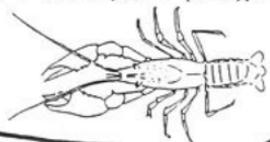


2. ドジョウ ・体長10～20センチ  
・口ひげは、5対  
・夜行性で、水田や浅い池、小川など

3. ウシガエル ・体長20センチぐらい  
(食用ガエル) とても大きい  
・夕方や明け方、  
ウォーウォーと響く声で鳴く



4. アメリカザリガニ (エビガニ)



5. セミの声
- ① アブラゼミ (茶色い羽) ♪ジリジリジリ…
  - ② ヒグラシ (透明な羽、体は茶っぽい)  
♪カナカナカナ… (明け方や夕方)
  - ③ ツクツクホウシ (透明な羽、体は黒っぽい)  
♪オーシンツクツク… (晩夏に多い)
  - ④ ミンミンゼミ (透明な羽、体に緑色の模様、大きい)  
♪ミンミンミン…

6. オニヤンマ ・大きい、黒い体に黄色い帯  
ギンヤンマ ・やや大きい  
・胸が緑、腰が水色

## < 連絡方法 >

観察した項目・月日・場所(地番や略地図)を、適当な紙に記入の上、自然博物館に郵送してください(専用の調査票はありません)。

※調査に御協力くださった方には、調査結果がまとまりしだい、報告書を送らせて頂きます。

# ☆☆☆ 自然博物館の行事案内 ☆☆☆

## 夏休み行事「名前をしらべる会」

### 1. 日・場所

- 8月23日(金) 自然博物館  
24日(土) 市民会館  
25日(日) 行徳公民館  
27日(火) 行徳公民館

### 2. 時間 午前10時～午後4時

- ### 3. 内容
- 皆さんが夏休みに作った標本に、専門の先生が名前をつけます。

\*申込みは必要ありません。標本を持って、直接会場においでください。

## 講演会「市川の鳥」

### ・第3回 「北方遊水池の野鳥」

- ### 1. 講師
- 石井信義 氏
- ### 2. 日時
- 8月17日(土)  
午後3時～5時
- ### 3. 場所
- 市川公民館  
視聴覚室

### ・第4回 「行徳の野鳥と環境」

- ### 1. 講師
- 蓮尾純子 氏
- ### 2. 日時
- 9月7日(土)  
午後3時～5時
- ### 3. 場所
- 行徳公民館  
集会室

\*申込みは必要ありません。

会場にて午後2時30分より受付いたします。



次号は10月1日発行

## 「9月の自然観察会①」

- ### 1. 日時
- 9月1日(日)  
午前9時30分～11時30分
- ### 2. 場所
- 江戸川放水路
- ### 3. 内容
- シギやチドリの観察
- ### 4. 申込み期間
- 8/19～8/24(期間厳守)
- ### 5. 定員
- 先着20名

## 「9月の自然観察会②」

- ### 1. 日時
- 9月22日(日)  
午前9時30分～11時30分
- ### 2. 場所
- 北方遊水池周辺
- ### 3. 内容
- 湿地の植物
- ### 4. 申込み期間
- 9/9～9/14(期間厳守)
- ### 5. 定員
- 先着20名
- \*申込み方法

往復ハガキに参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ、自然博物館までお送りください。なお、先着20名様にて締め切らせていただきますので、ご了承下さい。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

企画展「市川の鳥」は9月23日まで開催しています。

期間中、「鳥クイズ」をおこなっています。展示室のパネルや標本をよく見て、クイズに挑戦してください。全問正解者は、自然博物館鳥博士に認定します。詳しくは会場です！

市立市川自然博物館だより  
第4巻 5号 (通巻第14号)

発行日/ 平成3年8月1日

編集・発行/ 市立市川自然博物館

〒272 千葉県市川市大町 284番地

☎ 0473(39)0477